

— 広 告 —

KIT
キャンパス
レポート
文：出島二郎
マーケティングプランナー



樋田 嵩斗 (みたし たかし)
金沢工業大学大学院工学研究科
機械工学専攻
博士前期課程二年
石川県立金沢西高等学校出身

日本初のVR型チェアスキー シミュレータを研究しています。

「大学では、ここでスキルを身につけないと後悔するなど、高校までの自分は棄てて一から勉強を。苦手の物理も、授業後に積極的に質問し、土日も予習復習して克服したんです。ただ公式を覚えるのではなく、どうしてその公式が使えるのかと考える。それが理解につながりましたね。また、空き時間には、スポーツ考房という施設を利用して身体を鍛えました。」

「スポーツに関わる研究をした
と思う。さらに、学科横断で
一つのテーマに取り組むクラスター
研究室に興味があったので、鈴木
木研究室を選びました。今はロボ
ティクス学科と機械工学科と心理
科学科の学生と先生が参加してい
ます。希望する学生で編成され、
学習内容や思考法の違う立場で議
論するので、おもしろいですよ。」
社会に不可欠な異分野との協働
体制を先取りしたシステムは、就

活でも好評だ。指導する鈴木亮一
教授の専門は制御工学。研究室で
は生活支援技術や福祉医療支援技
術の開発研究を行っている。また
ドイツでの研究やグローバルなネ
ットワークを活かして、学生にさ
まざまな経験を積ませてくれる。
「去年七月の一週間は韓国の大
学プロジェクトに参加。本学の
プロジェクトデザインのような授
業で、トイレの排泄物を識別して
健康状態を把握するというテーマ
でした。日韓関係が難しい時期で
したが、向こうの学生といい関係
を持つことができましたね。」

「去年七月の一週間は韓国の大
学プロジェクトに参加。本学の
プロジェクトデザインのような授
業で、トイレの排泄物を識別して
健康状態を把握するというテーマ
でした。日韓関係が難しい時期で
したが、向こうの学生といい関係
を持つことができましたね。」

「去年七月の一週間は韓国の大
学プロジェクトに参加。本学の
プロジェクトデザインのような授
業で、トイレの排泄物を識別して
健康状態を把握するというテーマ
でした。日韓関係が難しい時期で
したが、向こうの学生といい関係
を持つことができましたね。」

金沢工業大学
石川県野々市市扇が丘七
電話番号(076)248-1100